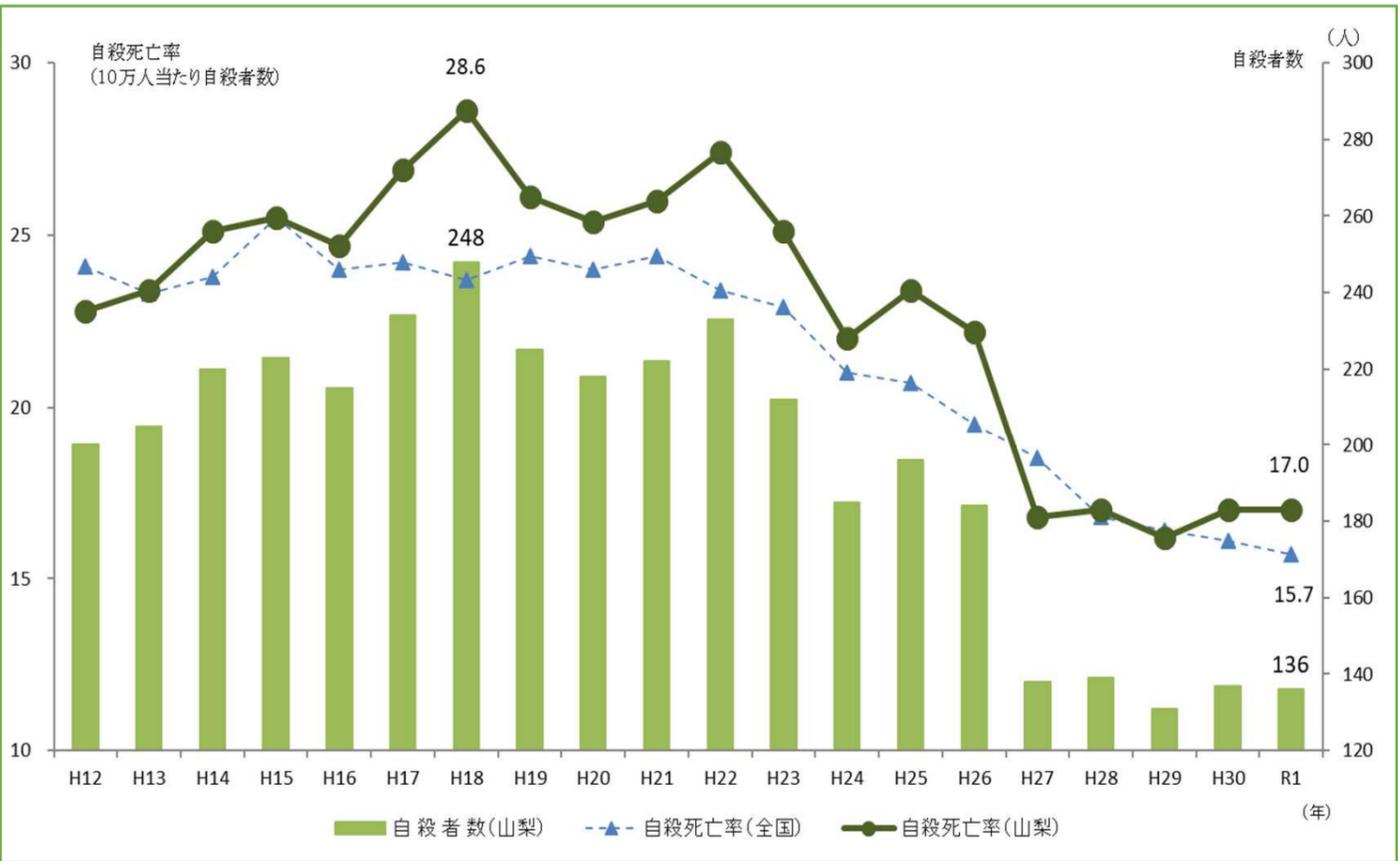


自殺の現状

1 住所地ベースの自殺者数等

◇人口動態統計(厚生労働省) 住所地を基に死亡時点で計上

- ・本県の自殺者数(概数)は、H27年以降、大幅に減少し、R1年は**136人**、自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は、**17.0**となっている。
- ・全国の自殺者数は、H22年以降10年連続で減少し19,415人となり、H3年以来28年ぶりに2万人を割った。自殺死亡率は15.7とS46年以來の低水準。



	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
自殺者数(山梨)	200	205	220	223	215	234	248	225	218	222
自殺死亡率(全国)	24.1	23.3	23.8	25.5	24	24.2	23.7	24.4	24	24.4
自殺死亡率(山梨)	22.8	23.4	25.1	25.5	24.7	26.9	26.1	25.4	26.0	

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
自殺者数(山梨)	233	212	185	196	184	138	139	131	137	136
自殺死亡率(全国)	23.4	22.9	21	20.7	19.5	18.5	16.8	16.4	16.1	15.7
自殺死亡率(山梨)	27.4	25.1	22.0	23.4	22.2	16.8	17.0	16.2	17.0	17.0
順位	5位	12位	17位	7位	6位	39位	23位	31位	14位	15位

出典：人口動態統計(厚生労働省)

- 【性・年齢階級別】**
- ・性別では、男性が13人増(+14%)となった一方、女性は14人減(△30%)。
 - ・年齢階級別では、20歳未満が前年比9人増となった一方、50歳代、60歳代は減少。20歳未満は、全国でも同様に増加している。
 - ・性、年齢別では、女性の30歳代～60歳代の減少が大きくなっている。

年齢	山梨県							全国			
	H22～H26平均	H27	H28	H29	H30	R1	H27～R1平均	R1-H30	H30	R1	R1-H30
20歳未満	4.8	2	2	3	2	11	4.0	9	602	652	50
20～29歳	20.2	12	15	18	16	15	15.2	△1	2,104	2,027	△77
30～39歳	24.4	15	9	12	13	9	11.6	△4	2,523	2,432	△91
40～49歳	34.0	24	28	10	18	18	19.6	0	3,390	3,319	△71
50～59歳	36.8	23	26	21	34	25	25.8	△9	3,415	3,310	△105
60～69歳	36.0	23	25	30	27	22	25.4	△5	2,920	2,767	△153
70～79歳	25.4	22	18	24	18	23	21.0	5	2,855	2,814	△41
80歳以上	20.4	17	16	13	9	13	13.6	4	2,175	2,056	△119
不詳	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0	47	38	△9
計	202.0	138	139	131	137	136	136.2	△1	20,031	19,415	△616

年齢	山梨県							全国			
	H22～H26平均	H27	H28	H29	H30	R1	H27～R1平均	R1-H30	H30	R1	R1-H30
20歳未満	3.8	1	1	3	2	8	3.0	6	373	432	59
20～29歳	16.0	10	12	12	9	9	10.4	0	1,503	1,429	△74
30～39歳	18.4	10	6	11	9	8	8.8	△1	1,886	1,826	△60
40～49歳	25.0	19	18	7	11	15	14.0	4	2,427	2,443	16
50～59歳	28.2	16	19	16	27	22	20.0	△5	2,461	2,427	△34
60～69歳	26.8	14	19	22	17	18	18.0	1	2,013	1,963	△50
70～79歳	15.6	15	12	15	12	15	13.8	3	1,856	1,851	△5
80歳以上	9.6	11	9	10	3	8	8.2	5	1,289	1,257	△32
不詳	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0	43	33	△10
計	143.4	96	96	96	90	103	96.2	13	13,851	13,661	△190

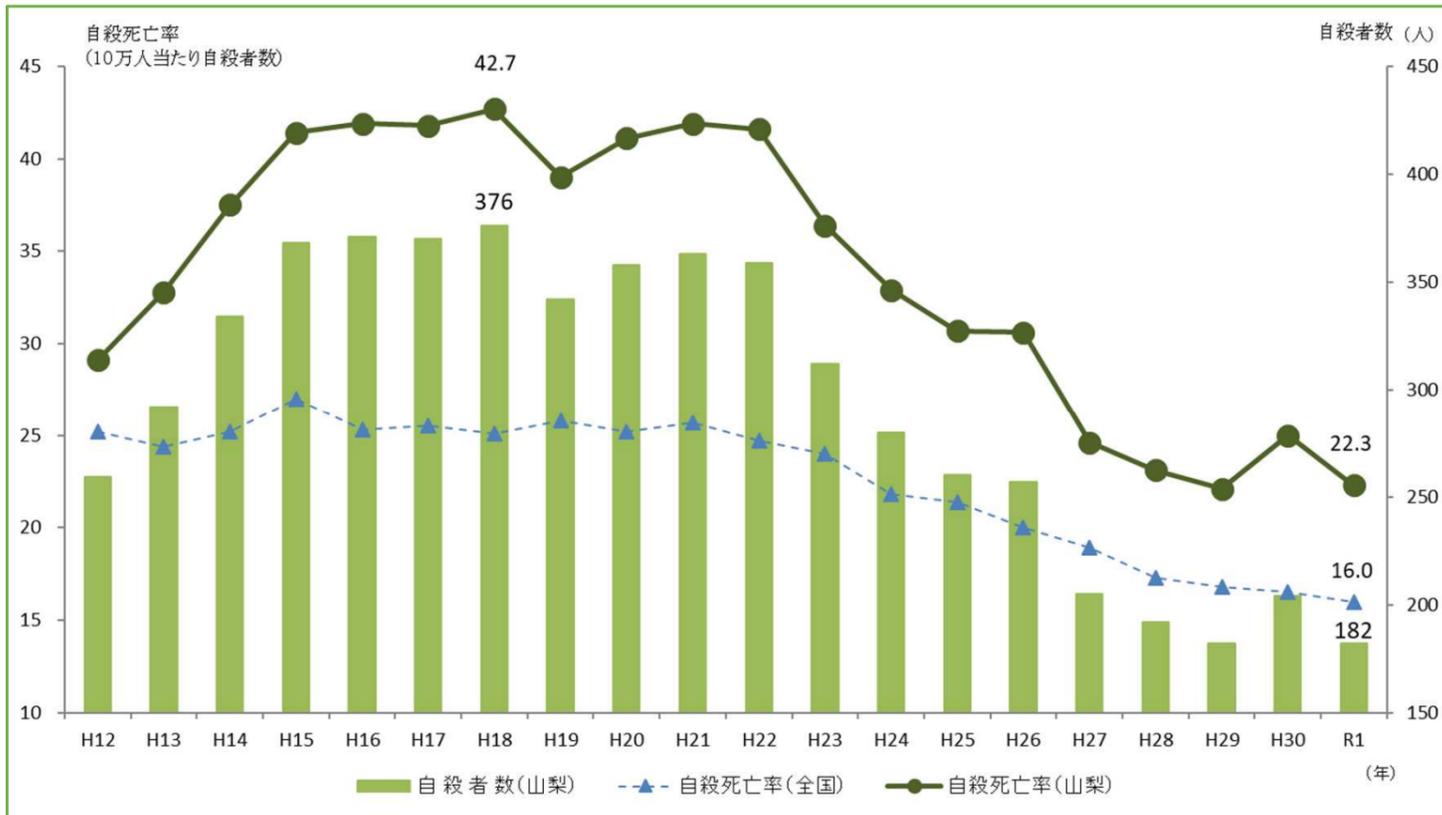
年齢	山梨県							全国			
	H22～H26平均	H27	H28	H29	H30	R1	H27～R1平均	R1-H30	H30	R1	R1-H30
20歳未満	1.0	1	1	0	0	3	1.0	3	229	220	△9
20～29歳	4.2	2	3	6	7	6	4.8	△1	601	598	△3
30～39歳	6.0	5	3	1	4	1	2.8	△3	637	606	△31
40～49歳	9.0	5	10	3	7	3	5.6	△4	963	876	△87
50～59歳	8.6	7	7	5	7	3	5.8	△4	954	883	△71
60～69歳	9.2	9	6	8	10	4	7.4	△6	907	804	△103
70～79歳	9.8	7	6	9	6	8	7.2	2	999	963	△36
80歳以上	10.8	6	7	3	6	5	5.4	△1	886	799	△87
不詳	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0	4	5	1
計	58.6	42	43	35	47	33	40.0	△14	6,180	5,754	△426

出典：人口動態統計(厚生労働省)

2 発見地ベースの自殺者数等

◇自殺統計(警察庁) 発見地を基に自殺死体発見時点で計上

- ・本県の自殺者数は、近年は大幅に減少し、H27年以降、200人前後で推移しており、R1年は182人、自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は、22.3となっている。
- ・全国の自殺者数は、H22年以降10年連続で減少し、R1年は20,169人となり、自殺統計開始以降、最少となっており、自殺死亡率は16.0と過去最小を更新。



	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
自殺者数(山梨)	259	292	334	368	371	370	376	342	358	363
自殺死亡率(全国)	25.2	24.4	25.2	27.0	25.3	25.5	25.1	25.8	25.2	25.7
自殺死亡率(山梨)	29.1	32.8	37.5	41.4	41.9	41.8	42.7	39.0	41.1	41.9

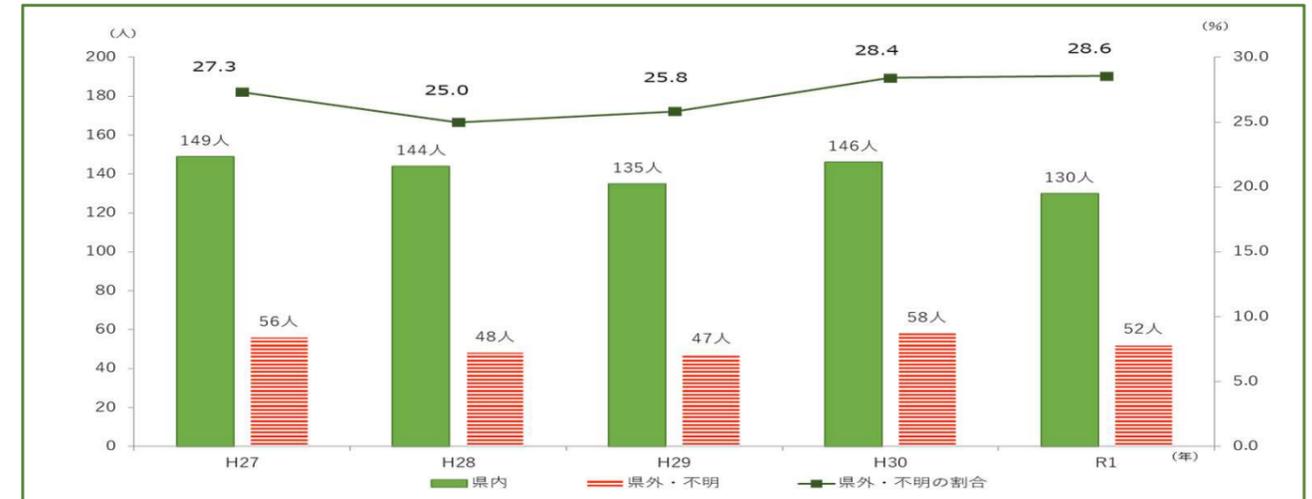
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
自殺者数(山梨)	359	312	280	260	257	205	192	182	204	182
自殺死亡率(全国)	24.7	24.0	21.8	21.4	20.0	18.9	17.3	16.8	16.5	16.0
自殺死亡率(山梨)	41.6	36.4	32.9	30.7	30.6	24.6	23.1	22.1	25.0	22.3
順位	1位	1位	1位	1位	1位	5位	5位	3位	1位	1位

出典：自殺統計(警察庁)
注：令和元年の自殺死亡率は、令和2年3月17日に厚生労働省・警察庁が公表したもので、総務省「人口推計(平成30年10月1日現在)」に基づくもの。(概算値)

【発見地ベースと住居地ベースの比較】

- ・本県で発見された自殺者の約3割が、自殺前住居地が県外・不明となっている。
- ・県外から訪れる自殺者が多いため、住居地ベースの自殺者数を発見地ベースの自殺者が大きく上回っており、その割合は全国でも突出している。

表1：自殺前住居地別の推移



出典：山梨県における自殺の概況(山梨県警察本部)

表2：発見地ベースの自殺者数と住居地ベースの自殺者数の比率(差が大きい上位5団体)

団体名	H29			H30			R1		
	発見地 a	住居地 b	比率 a/b	発見地 a	住居地 b	比率 a/b	発見地 a	住居地 b	比率 a/b
山梨県	182	148	1.273	204	149	1.369	182	134	1.358
和歌山県	201	182	1.104	134	119	1.126	172	152	1.132
鳥取県	100	92	1.087	161	144	1.118	363	327	1.110
栃木県	393	366	1.074	227	206	1.102	125	113	1.106
福井県	132	124	1.065	359	330	1.088	134	122	1.098

出典：地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)のうち発見日を基準に障害福祉課作成。

【保健所管内別】

- ・全ての保健所管内で、住居地ベースを発見地ベースが上回っており、特に富士・東部保健所管内ではその傾向が顕著。

表3：保健所管内別の住居地ベース・発見地ベースの自殺者の状況(H27~R1)

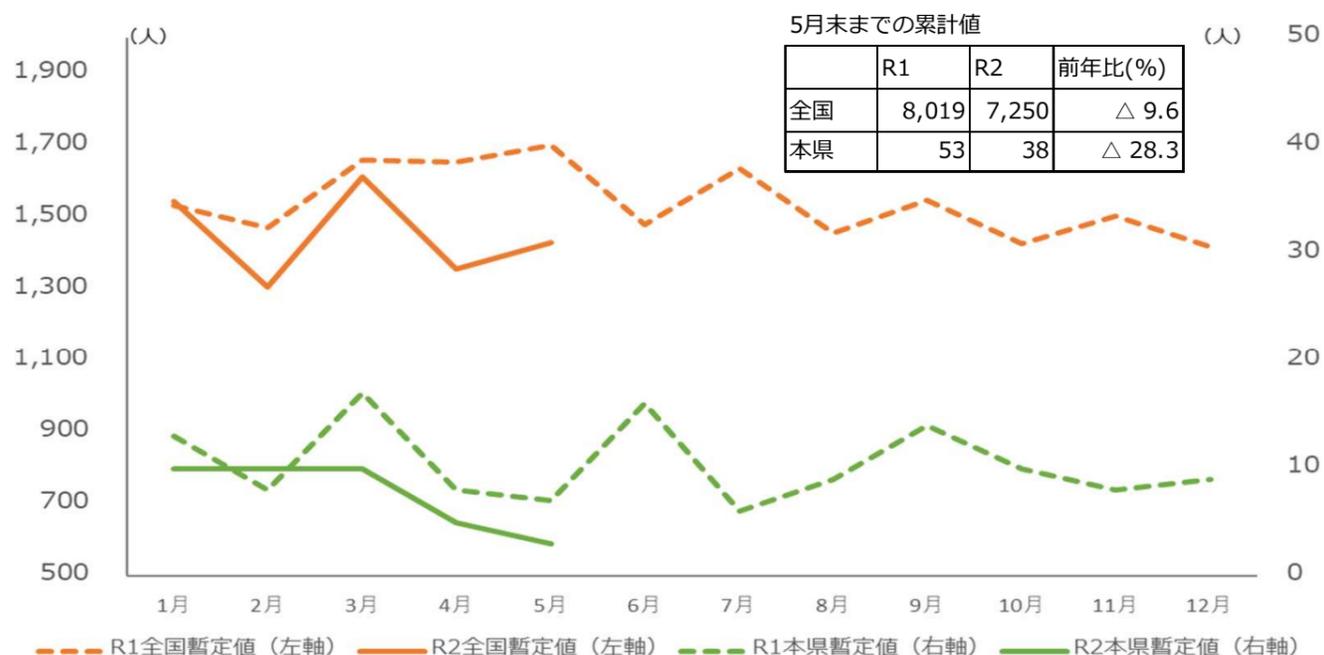


出典：地域における自殺の基礎資料(厚生労働省)

(参考) 住居地ベースの自殺者の状況

人口動態統計では、性、年齢別の状況は把握できるものの、職業、原因・動機等のデータがないことから、住所地ベースの自殺者の状況を把握するため、自殺統計から、自殺日・住居地ベースのデータを集計。住民票の住所地で集計している人口動態統計とデータは近似（外国人の扱いの差異や住所地と住居地の差異から両者は一致しない）になる。

(1) 直近の自殺者の状況



出典：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省）
注：データは、R1年分も含め、各月に公表された時点の暫定値であり、その後の異動は反映していない。

(2) 原因・動機の状況

	総数					男性					女性				
	H27	H28	H29	H30	R1	H27	H28	H29	H30	R1	H27	H28	H29	H30	R1
家庭問題	16	14	26	24	17	9	12	16	12	10	7	2	10	12	7
健康問題	64	45	61	67	55	37	27	34	37	37	27	18	27	30	18
経済・生活問題	26	21	26	19	15	23	17	24	18	14	3	4	2	1	1
勤務問題	12	9	18	18	9	9	6	15	16	9	3	3	3	2	0
男女問題	7	3	8	3	0	4	1	5	1	0	3	2	3	2	0
学校問題	2	6	2	1	3	2	2	2	1	3	0	4	0	0	0
その他	10	4	11	5	8	5	4	5	4	6	5	0	6	1	2
不詳	50	72	43	53	54	40	50	36	41	42	10	22	7	12	12

注）明らかに推定できる原因・動機を一人につき3つまで計上可能としているため、自殺者数とは一致しない。また、自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きているものであることに留意が必要。

出典：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省において特別集計

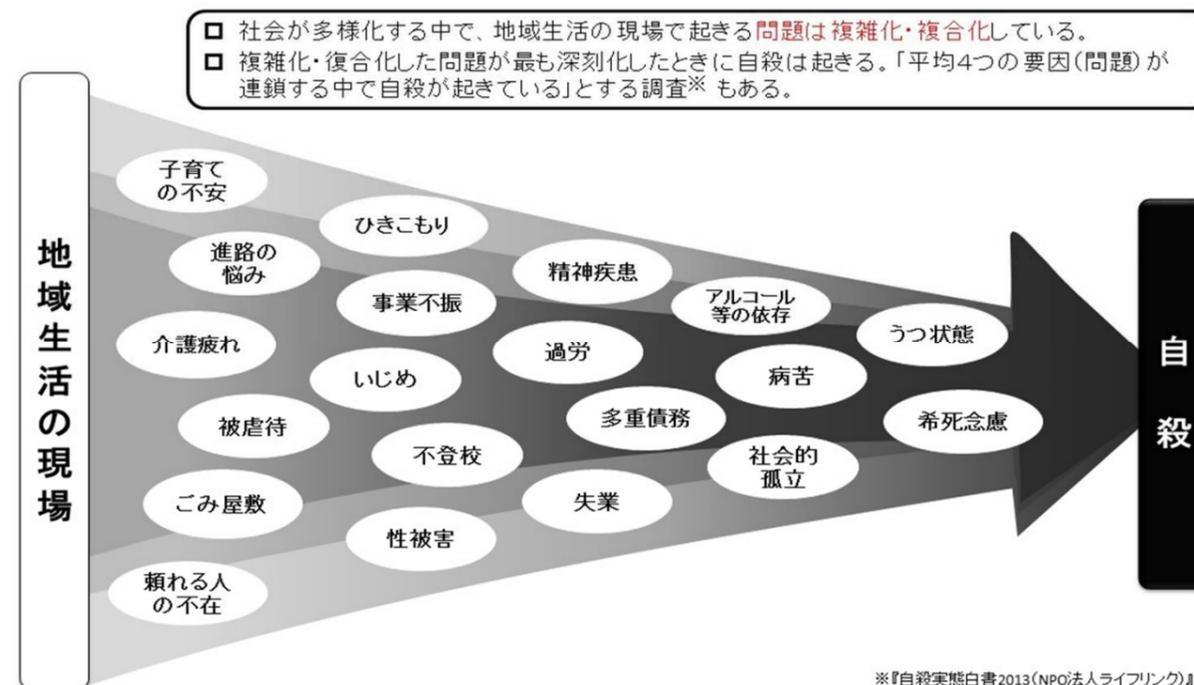
⇒ 原因・動機では、健康問題（うつ病等）が多いが、他の問題が深刻化する中で、これらと連鎖してうつ病を発症することも多いとされる。健康問題を除くと、学校問題が増加した一方、家庭問題や勤務問題は減少している。

付表 令和2年1～5月までの自殺者の原因・動機（全国）

	原因・動機別							
	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳
平成31年1月～5月	1,214	3,856	1,466	828	270	145	443	2,487
うち1月～3月	732	2,183	885	500	162	91	262	1,437
うち4月・5月	482	1,673	581	328	108	54	181	1,050
令和2年1月～5月	1,105	3,423	1,283	655	262	144	419	2,404
うち1月～3月	705	2,043	841	416	162	96	251	1,456
うち4月・5月	400	1,380	442	239	100	48	168	948
比較	△ 109	△ 433	△ 183	△ 173	△ 8	△ 1	△ 24	△ 83
うち1月～3月	△ 27	△ 140	△ 44	△ 84	0	5	△ 11	19
うち4月・5月	△ 82	△ 293	△ 139	△ 89	△ 8	△ 6	△ 13	△ 102
増減率	△ 9.0%	△ 11.2%	△ 12.5%	△ 20.9%	△ 3.0%	△ 0.7%	△ 5.4%	△ 3.3%
うち1月～4月	△ 3.7%	△ 6.4%	△ 5.0%	△ 16.8%	0.0%	5.5%	△ 4.2%	1.3%
うち4月・5月	△ 17.0%	△ 17.5%	△ 23.9%	△ 27.1%	△ 7.4%	△ 11.1%	△ 7.2%	△ 9.7%

出典：地域における自殺の基礎資料（厚生労働省）
注：データは、R1年分も含め、各月に公表された時点の暫定値であり、その後の異動は反映していない。

危機要因のイメージ



※『自殺実態白書2013(NPO法人ライフリンク)』

出典：厚生労働省資料